



交通安全・防犯のまちづくり



●秋の夕暮れ時は交通事故に注意!

秋は日没時間が急激に早まり、下校時間帯や会社からの帰宅時間帯と夕暮れ時が重なります。夕暮れ時は、歩行者や自転車、バイクが薄暗い周りの風景に溶け込み、ドライバーからの発見が遅れやすくなります。互いの存在を早めに知らせ、事故を未然に防ぐため、次のポイントに気を付けましょう。

①自発光式反射材の着用

歩行者や自転車は、自発光式反射材を着用し、自光を放つことで自分の存在を知らせましょう。

②早めのライト点灯

車やバイク、自転車の運転者は、早めのライト点灯を心がけ、自車の存在を知らせましょう。

☎市民協働課交通政策係 44-3125

●市内で車上ねらいの被害が発生しています!

市内では昨年に比べて、車上ねらいや自動車の器物破損の被害が増加しています。

▽被害に遭わないためのポイント

- ① 自動車盗難警報機などの、盗難防止機器を取り付けましょう。
- ② 車を離れる時間が短時間でも、エンジンキーを必ず抜きましょう。
- ③ 窓を完全に閉め、必ずドアをロックしましょう。
- ④ バッグや現金などを、車内に置いたままにしないようにしましょう。
- ⑤ ガッシュボードや車内の小物入れなどに、スペアキーを保管することはやめましょう。
- ⑥ 管理の行き届いた、明るい駐車場を選びましょう。

☎袋井警察署生活安全課 41-0110(代表)
市民協働課自治振興係 44-3107



自発光式反射材



秋葉線廃線あとをたずねて

●ノスタルジックな原野谷川橋りょう

市の中央部を流れる原野谷川には、袋井駅と北部をつなぐ静橋(旧橋)が架かっていました。上流には、この橋と並行するように秋葉線の鉄橋がありました。

橋の近くには、火の見やぐらや中村洋裁学院の校舎があり、昭和の袋井を代表するなつかしい風景の一つとなっていました。電車の進行方向の「袋井町停留場」方面を見下ろすと、旧袋井宿の町並みや白鬚神社の森が広がっていました。

この鉄橋は、昭和37年に秋葉線が廃止になると、歩道橋として利用されていましたが、昭和59年6月26日の豪雨の際、濁流によって流失してしまいました。

原野谷川橋りょうを走る秋葉線(昭和37年)



写真提供 園田正雄さん

袋井駅と北部をつなぐ静橋(現在)



☎歴史文化館 23-9269(土・日曜日・祝日休館)



市民病院だより



●視能訓練士を御存じですか?

市民病院の眼科外来には、複雑な器官である「目」の健康を守る医療技術者として、3人の視能訓練士がいます。視能訓練士は、様々な眼科用医療機器を使って患者さんの視機能を検査し、その検査データを眼科医に提供します。この検査データは、病気の診断や治療につながる重要なものです。

検査で代表的なものは視力検査ですが、その他に、眼圧・視野・白内障の手術前後の検査、斜視や弱視の検査と訓練、メガネ合わせなどがあ



ります。毎日の暮らしの中で、以前に比べて「物ががすんで見えにくい」、「見える範囲が欠けている」、「物が二重に見える」など、「今までと何か違う」と異常を感じたら、眼科を受診し、必要な検査を受ける事をお勧めします。特に、小さなお子さんやお年寄りのいる家庭では、まわりの家族が、目の様子や見え方をよく観察してあげてください。

目の治療も体と同じで、早期発見が何よりも大切です。皆さんが何歳になっても見えることの喜びや楽しみを感じ、より快適な生活を送れるように、視能訓練士は、検査を通じて適切な医療を提供できるよう努めています。目の健康に関して、心配な事や気になる事があ

☎市民病院診療技術部外来技術室(眼科) 43-2511(代表)